

**将来のことを考えて行動を！！**

進路だよりが皆さんの手元に渡るときには稲高祭が終了しているかと思いますが楽しめましたか？しかし、2学期はあと2か月あります。ここで燃え尽きたということが無いよう2学期末まで気を引き締めて学校生活を送るようにしてください！！話が変わりますが、先週実施された中間テストの出来はいかがだったでしょうか？計画的に勉強を進めることが出来たか？今回のテストで失敗したと感じたようでしたら同じことを繰り返さないよう期末テストは計画的に準備を進めるようにしてください。3年生になってからでは挽回は出来ません。毎日の学校生活を充実させる。これが1・2年生の皆さんが今やるべきことです！！

3年生の皆さんは、自分の進路が決定し、ホッとしている人もいますが、これから試験に臨む人もいます。そのような人たちの邪魔をしないようにしてください！！自分の進路が決定したから良いのではなく、3年生全員の進路が決定するまで協力する気持ちを忘れないようにしましょう。

また、残りの学校生活をどのように過ごしていくのかをしっかりと考えるようにしてください。思い出作りのためだけに気が抜けた学校生活を送ることだけはやめるようにしてください！！



**10月・11月の予定**

- 10/21 (金) 稲高祭 (体育の部)
- 10/26 (水) 2年生保護者懇談会
- 10/29 (土) 看護模試 (2年生希望者)  
マーク模試 (3年生希望者)
- 10/30 (日) マーク模試 (3年生希望者)
- 11/ 1 (火) 朝礼
- 11/ 4 (金) 津波防災訓練
- 11/ 5 (土) オープンスクール
- 11/ 6 (日) 総合学力テスト (1・2年生希望者)
- 11/ 7 (月) 代休
- 11/10 (木) 進路ガイダンス (2年生)
- 11/16 (水) 地域の人々と語る会 (1年生)
- 11/19 (土) 公務員模試 (2年生希望者)

2日間の稲高祭お疲れ様でした！1・2年生はこの後インターシップ、修学旅行と行事が続きます。楽しむことも大切ですがそうした行事が自分の糧になるように目標、目的を持って参加するようにしてください！！



### 3年生の進路決定状況



先月9月16日（金）から、就職試験が始まり、各企業より結果が届いています。本年度の3年生も昨年度と同様に就職希望者の人数が少ない傾向（学校求人による就職希望者20名、自己就職、公務員希望者4名）にありますが、面接練習や苦労して履歴書を作成した甲斐もあり良い知らせを受ける事が多いです。今年の3年生も昨年度の先輩に負けないくらい健闘しています！なかには悔しい結果もありますが、あきらめなくて挑戦し続けましょう！就職希望のみなさん、最後まで頑張りましょう！！

## 速報

就職  
おめでとう！



管内	伊豆ヘルス・ケア(株) (株)河津建設 (株)富士宇部東伊豆事業所
県内	三島信用金庫 (株)静岡中央銀行 富士伊豆農業協同組合 (株)伏見電工 (株)シラトリ ダイオーペーパープロダクツ(株) (株)山田電工社 (株)マルエエナジー (株)トクラ 販売事業部 (株)イー・ケア
県外	(株)ロピア(2) (株)At Human Vision (株)One step ダイカンサービス(株) (株)西武フリスホテルズワールドワイド

一方、進学希望者の動向ですが専門学校を中心にAO入試でチャレンジした生徒の結果が届いています。

商業実務	東京医療秘書福祉専門学校
衛生 / 美	横浜ビューティ&ブライダル専門学校(2)
衛生 / 食	東京スイーツ&カフェ専門学校 東京ベルエポック製菓調理専門学校
教育・福祉	横浜こども専門学校 静岡産業技術専門学校
工業	沼津情報・ビジネス専門学校
文化・教養	横浜リゾート&スポーツ専門学校

進学希望者の皆さんも試験に向けて面接練習や筆記の勉強を頑張ったと思います。受験結果を待っている生徒、まだ試験を控えている生徒もいますが良い結果が届くことを期待しています！！

## 進学希望者の推薦基準について

1・2年生必読！！



上級学校への進学の方法ですが、本年度の3年生のうち大学・短大希望の生徒の9割、専門学校については5割の生徒が推薦制度を利用しています。

### 推薦資格を得るための条件(その1)



推薦制度とあるようにこの制度を利用するためには「推薦」が必要となります。この「推薦」とは上級学校から示される評定平均や成績や欠席日数などの基準を満たしていることはもちろんですが、それ以上に「校長先生からの推薦」が必須条件になります。推薦を希望する生徒は管理職の先生方との面接を行います。そのためには下に挙げる5つの条件を満たしていることが必要です。

### 管理職面接を受けるための条件

1. 進学に対する動機がはっきりしており、保護者とともに推薦を強く希望していること。
2. 授業において向上心を持ち取り組んでいる生徒であること。(授業中に寝たりしないこと)
3. 学校生活において、基本的な生活習慣が身につけている生徒であること。(服装や頭髮に乱れがないこと)
4. 進学先でもしっかりとした態度で生活を送ることができる生徒であること。
5. 試験に合格した後も落ち着いた高校生活を送ることを約束できる生徒であること。



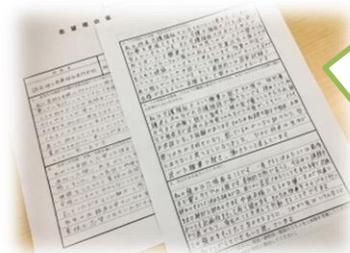
このことから1、2年生の皆さんが3年生に進級し、推薦制度を利用するうえで日々の学校生活がとても大切になるといえることがお分かりだと思います。つまり、校長推薦の条件というのは「自分自身の進路について真剣に考え、高校生活を充実させ自分自身を成長させた」という意味もあるのです。ですから、できていないことがあっても、今から改善されれば、推薦の対象になります。反対に指導されたにもかかわらず改善されなければ、推薦はされません。

また、生活面がしっかりしていけば、自然と学習に対する取り組みもより良いものになっていきますし、前向きな気持ちで進路を考えていくことにもつながっていきます。推薦制度で進学をするしないにかかわらず、この機会に自分の生活や学習への取り組みを見直し、自分や周りに甘えた気持ちをなくして、自分のために努力しましょう。

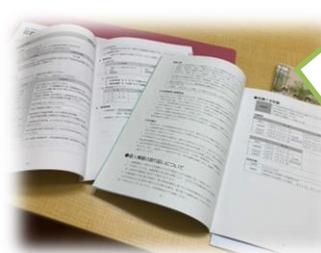


### 推薦資格を得るための条件(その2)

管理職面接を受けるための条件を満たしていたら志望理由書を作成し、管理職の先生方との面接を実施します。その面接で皆さんが本当に推薦にふさわしい人物か最終的な判断をしていただきます。志望理由書は「高校生活について」「進学したい学校を選んだ理由」「進学後に何を学びたいか」「卒業後どのような仕事に就きたいか」「自己PR」の5つから構成されています。



本年度の3年生も志望理由書の作成に苦労していました…。事前準備が大切です！！



並行して志望する学校の推薦基準に達しているか確認しておきましょう！

志望理由書を完成させるためには、高校生活で得た自分自身の経験・体験を整理し、自分のことを見つめ直す「自分自身の過去を振り返ること」、学校のパンフレットやホームページを閲覧したり、オープンキャンパスに参加し「志望校について調べること」が必要になります。とくに「自分自身の過去を振り返る」ときには各学期に作成しているポートフォリオを参考にすると良いでしょう。



上級学校の入試では推薦制度やAO入試に付随して「特待生制度」を設定している学校もあります。特待生として認められると入学金の免除や、授業料の減免など様々な恩恵を受けられることから本校でも特待生の試験にチャレンジする生徒が多くいます。そのようななか、特待生の面接練習をお願いされることがあるのですが、特待生制度を正しく理解していない生徒も多くいるように感じられます。ここでは改めて「特待生制度」とは何かを説明したいと思います。

### そもそも特待生とは？

特待生（とくたいせい）とは、入学試験や在学中の成績優秀者等に対して、学費の一部、もしくは全てが免除されたり、奨学金の支給などの特別な待遇を受ける学生や生徒である「特別待遇学生」「特別待遇生徒」の略語、また制度そのものを示す言葉として、教育現場等で広く用いられている。（ウィキペディアより）とあります。もう少し別の言い方をすれば、「学業や素行が優秀であり入学後も他の生徒の模範となり活躍ができるであろう人物」ということになると思います。

### 特待生の志望動機の例

本校の多数の生徒がこのように答えます

私が特待生を志望した理由は、特待生として認められれば授業料の減免を受けられるなど学費が安くなると考えたからです。



このような志望理由は特待生制度の趣旨から全く外れていると考えてください。

私は高校の定期テストでは、常に学年1位を目標に勉強してきました。その努力が実り、高校3年間の定期テストで学年1位をキープしてきました。この姿勢を貴校入学後も続け他の学生の模範となることができると考えているため特待生を志望しました。



自分が他の学生よりも優れているところをしっかりとアピールすることによって特待生として認められます。

私は3年間運動部に所属し練習に励みました。練習は大変でしたがそのことを言い訳にしないよう日々の授業にもしっかりと取り組みました。その結果、部活動では全国大会へ出場、勉強では常に上位にランクしていました。貴校では座学ばかりではなく実習も多いと聞いています。高校での経験を生かし座学と実習のどちらに偏ることなく勉強に励むことによって他の学生の模範となることができると思ったため特待生を志望しました。

さらに、

その学校に入学し学校生活の中でどのような知識や技能を身につけたいか？

や

学校卒業後はどのような進路(どのような会社に就職したいか)に進みたいか？

といった入学後や将来に対するビジョンをしっかりと持っているかも特待生面接では求められるようです。

また、面接だけではなく高校の成績や入試の筆記試験の得点で特待生として認められたり、選考のために別途筆記試験も実施されることがあります。特待生として認めてもらうためには1、2年生のうちから高校生活を充実させ、他の生徒に負けない資質と能力を身につけておく必要があるのです！！